

油圧装置調整技能士 1 級 正誤表

●学科問題

ページ	誤	正
1 頁真偽法 問題 4	下図の回路において、P1 の圧力が発生しているとき、P2 と P3 の圧力はゼロである。	下図の回路において、P1 の圧力が発生しているとき、P2 と P3 の圧力差はゼロである。
2 6 頁真偽法 問題 7 解説	危険性であり、引火点は低い方が望ましい	危険性であり、引火点は高い方が望ましい
3 3 頁真偽法 問題 2 解説	可動鉄心の変位に応じた電流が正しい	可動鉄心の変位に応じた電圧は正しい 根本的な誤りは一次コイルに流れる電流は直流となっている。正しくは交流である。
25 頁 真偽法 問題 1 解説	3600 cm ³ /年	360,000 cm ³ /年

付録として添付している実技ペーパーの解答に関して、回路図と計算値が合わない問題もありますが国の解答に計算を合せております。例えば油圧回路における諸計算問題 2(4 頁)のロジック弁は単なる Hi-Lo 回路なので、設問 1 は 9000/毎分となりますが、差動回路の考え方で計算しないと国の解答の 4000/毎分に合わないのです仕方なく差動回路の計算を用いているのもあることを御承知下さい。解答の数値はすべて国の解答に合わせております。

同様に問題 3(9 頁)の解答においても設問が理解できかねる部分があります。

検定の問題においてあってはならないことですが出題ミスもあります。軽く流して覚えておきましょう。